

2018年度  
社会福祉法人イリアンソス  
**事業報告**



## 目次

### 第1 2018年度イリアンソス事業報告について

- 1 法人の理念
- 2 情勢展望報告
- 3 法人事業報告
- 4 法人運営報告
  - (1) 法人役員
  - (2) 職員体制
  - (3) 理事会・評議会
  - (4) 法人会議
  - (5) 家族会
  - (6) 研修
  - (7) 施設整備
  - (8) 職員採用
  - (9) 担当者会

### 第2 事業別報告

- 1 日中支援部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の報告
    - 1) のぞみの家
    - 2) 活動センターかなえ
    - 3) なかまの家
- 2 生活寮部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の報告
    - 1) うみ・そら
    - 2) にじ・かぜ
    - 3) 短期入所
- 3 余暇・居宅部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の報告
- 4 相談部門
  - (1) 重点課題
- 5 事務部門
  - (1) 重点課題

## 第1 2018年度 イリアンソス事業報告について

### 1. 法人の理念

- 1 障害のある利用者一人一人を「主人公」として、生きてきたそれぞれの歴史を大切に、これからの人生を共に考えていくことのできるきめの細かい丁寧な実践をすすめます。
- 2 職員一人一人が見通しと目標を持って仕事に立ち向かい、自らの成長への願いと力量を高めていくことのできる職場づくりをすすめます。
- 3 利用者、家族、職員、役員など法人を構成する一人一人の意見が決定の過程に反映され、理解と納得のもとに実行に移していくことのできる組織運営をすすめます。
- 4 時代の変化や地域の要請に応えていくことのできる法人、施設として経営基盤の確立を求めつつ新たな事業展開をしていきます。

### 2. 情勢展望報告

#### (1) 報酬改定に見る今後の障害福祉

2018年度に実施された障害者総合支援法の報酬改定は、基本報酬も含めて成果によってランク付けがなされました。特に就労継続支援 B 型事業所の基本報酬は平均工賃によって7段階に評価され、工賃が高いほど報酬が増え、工賃が低いほど報酬が下がる仕組みとなりました。障害の重い人の中には「仕事ができず工賃が稼げない自分がいることで、報酬を押し下げているのでは」と肩身の狭さを感じる人が出ています。そして、経営者のなかには、「工賃を稼げる人を優先しよう」「開所日を増やして報酬を維持しよう」「職員を減らして人件費を抑えよう」といった経営が始まっています。そうすると、障害のある人の「働く」権利が大きくゆがめられてしまいます。また、3年後の報酬改正には、「生活介護」にも成果主義や効率化を導入しようとする動きがあります。

こうした、動きは障害者権利条約の理念からも程遠いものです。わたしたちが大切にしている「一人ひとりが主人公」を守っていくためにも、多くの市民に共感される運動を展開していく必要があります。

#### (2) 司法で認められた権利

65歳になると同じサービスが介護保険サービスにあった場合、介護保険サービスの利用が優先される、いわゆる介護保険優先原則（障害者総合支援法第7条）について、画期的な出来事がありました。岡山県に住む浅田達雄さんが、65歳になったことにより重度訪問介護サービスを打ち切られたことについて、

岡山市を提訴した裁判です。2018年12月13日に広島高等裁判所岡山支部にて判決が出され、浅田さんの訴えが認められました。判決は、介護保険優先原則は障害のある人の生活の状況に基づいて判断すべきであり、一律に介護保険サービスに移行するものではないと結論付けています。各地で起こっている、「65歳問題」のとりくみに大きな後押しとなります。判決文には、障害者自立支援法違憲訴訟の基本合意文書において明記されている介護保険優先原則の廃止を検討すると約束したことも活かされています。

司法では、わたしたちが運動して築き上げてきた成果を判決のよりどころとしているにもかかわらず、国会や政府は政治力学によって判断してしまっています。

旧優遇保護法の被害者に対する補償についても議員立法という形で国の責任を曖昧にし、一時金にしても320万円（予算額に対して被害者の数を割った金額といわれている）と被害にあった障害のある人たちの生活実態も調査せずに決めてしまっています。

### **（3）厳しい情勢の中でも**

こうした、厳しい情勢の中でもわたしたちが大切にしている障害のある人たちの人権を守っていくことに地域の力を借りて取り組んでいきます。

イリアンソス後援会が行っている障害者関連の映画の上映会も毎年実施することができ、今年度は「真白の恋」を上映することができました。

障害を市民に少しでも理解していただくことで、「生まれたこの地域で暮らしたい」という本人や家族の願いをかなえていく法人として関係者一同取り組んでいきます。

### 3. 法人事業報告

#### (1) 人材確保と育成

常勤職員に男性 1 名を確保することができました。しかし、法人として必要な人材確保までには至りませんでした。そのため、平成 30 年度に計画していた生活寮の新規事業を延期せざるを得ない事態となってしまいました。

#### (2) 事務の一本化の実現と事業の連携

現在、4 つの部門による事業を進めています。その中で、法人全体で人事交流や事務の効率化を図るために、昨年度から事務の一本化を進めてまいりました。

それぞれの部門で事務を担っている担当者での会議を行うことで、法人全体の事務の共有化を進めることができました。

#### (3) 専門職との更なる連携

年齢を重ねる利用者の支援において、医療やリハビリなど専門職との連携が必要となってきています。今年度も取り組みを継続することができ、生活寮では利用者の健康状態の把握を家族や訪問看護師との連携で対応することができました。また、常備薬についても職員が適正な判断ができるよう市販薬ではなく医師の診断における薬の使用に切り替えるお願いをしました。

### 4. 法人運営報告

#### (1) 法人役員

##### 1) 理事・監事

ア. 定数 理事 6 人 監事 2 人

イ. 任期 平成 29 年 3 月 15 日～2 年後の定時評議員会終了まで

##### 2) 評議員

ア. 定数 7 人

イ. 任期 平成 29 年 3 月 15 日～4 年後の定時評議員会終了まで

##### 3) 評議員選任解任委員

ア. 定数 3 人

イ. 任期 平成 29 年 3 月 1 日～4 年後の定時評議員会終了まで

##### 4) 法人事務局員

ア. 2 名

## (2) 職員体制

		常勤(上段)						
		非常勤(下段,カッコ内の数字はパート)						
		施設長	サビ管	主任	リーダー	支援員	事務	小計
日中支援部門	のぞみの家	①	①	3			1 (1)	
	かなえ	1	1	3		1 2(10)	1(2)	7 3(12)
	なかまの家	①	①	2		1 1(8)	1	4 2(8)
生活寮部門	うみ	①	1	1		2 (9)	1	12
	そら				2△ (5)			
	にじ		1	1		1 1△(4)		1(23)
	かぜ			1		1 (5)		
余暇・居宅・相談支援部門	このみ	①	1			① (9)		2 (10)
			①			① 1(5)		2 1(5)
	相支		①					1
			①				① (①)	1(1)
合計								

※○に数字は兼任

※サビ管はサービス管理責任者の略

※放課後＝放課後等デイサービス

※移支＝移動支援事業

※かなえ＝活動センターかなえ

※日中＝日中一時支援事業

※相支＝イリアンソス相談支援センター

### (3) 評議員会・理事会

#### 1) 評議員会

回数	日にち	出席者	議事内容	
1	6月19日	評議員 4名 理事 2名 監事 1名	報告	処遇改善金について のぞみの家 共同募金申請について 活動センターかなえ 喫茶について
			審議	平成29年度事業報告(案)について 平成29年度決算報告(案)について 平成29年度監査報告について のぞみの家 大規模修繕について 経理規定の一部変更について
2	3月26日	評議員 4名 理事 2名 監事 1名	報告	平成30年度第3次補正予算について 平成31年度事業計画について 平成31年度当初予算について 交通費について

## 2) 理事会

回数	日にち	出席者	議事内容	
1	5月28日	理事5名 監事1名	報告	処遇改善金について のぞみの家 共同募金申請について 活動センターかなえ 喫茶について
			審議	平成29年度事業報告(案)について 平成29年度決算報告(案)について 平成29年度監査報告について のぞみの家 大規模修繕について 経理規定の一部変更について
2	7月24日	理事4名 監事2名	審議	のぞみの家 大規模修繕契約書(案) について 生活寮 外壁工事に係る積立金取り 崩しについて
3	9月26日	理事6名 監事2名	報告	生活寮 修繕工事について Café てんについて 理事長報告
			審議	のぞみの家 積立金取り崩しについて
4	12月4日	理事5名 監事1名	報告	のぞみの家 大規模修繕について 生活寮うみそら 外壁補修について 生活寮 重度障害者支援加算申請 について
			審議	虐待防止対応規定(案)について 補正予算について
6	3月26日	理事6名 監事1名	報告	A配分による車両購入について
			審議	平成30年度第3次補正予算について 平成31年度事業計画について 平成31年度当初予算について 交通費について



#### **(4) 法人会議**

##### **1) 部門長会議**

月1回・理事長、部門責任者（日中、生活寮、余暇・居宅、事務）

##### **2) 通所責任者会議**

月2回・日中部門責任者、日中事業所施設長・サビ管

##### **3) 生活寮責任者会議**

週1回・生活寮部門責任者、副寮長、男・女寮責任者

##### **4) 余暇・居宅部門会議**

月1回・余暇居宅部門長、サビ管

##### **5) 広報部会**

年4回

##### **6) 担当者会**

月1回

#### **(5) 家族会**

法人全体の家族会を以下内容にて行いました。

日時：7月26日（木）10時～

内容：・制度について

・法人の活動について、他

（新しい利用者の紹介、新規事業の喫茶事業について、他）

#### **(6) 研修**

##### **1) 新人職員研修**

年2回・平成29年度採用職員及び平成28年度

##### **2) 中堅研修**

年1回

##### **3) ベテラン職員研修**

年1回

##### **4) 法人研修**

年1回、法人全体職員研修をおこないました。今回は、講師を招いて虐待防止に関する研修を実施しました。支援の質の向上がおこなえました。

##### **5) 事業報告会**

12月20日に摂食に関する講義と職員のレポート発表をおこない、実践の振り返りと向上をおこないました。

##### **6) 外部研修**

サービス管理責任者研修（各事業所1名）

その他、積極的に東京都、きょうされん、都通連等の研修会に参加しました。

## **(7) 施設整備**

### **1) のぞみの家**

#### ア. 空調交換工事

事業総額 10,638,000円(税込)

補助金額 7,978,000円

#### イ. 車両

事業総額 3,407,000円(税込)

補助金額 2,250,000円

### **2) 活動センターかなえ**

#### ア. 新しい入所者及び利用者に必要な備品購入

### **3) なかまの家**

#### ア. 車両

事業総額 2,680,000円(税込)

補助金額 1,870,000円

#### イ. 修繕・改修

事業総額 383,400円(税込み)

### **4) 生活寮**

#### ア. うみそら外壁補修工事

事業総額 4,352,400円(税込)

消費税額 322,400円

#### イ. うみ浴室改修工事

事業総額 2,211,229円(税込)

工事価格 2,047,435円

消費税額 163,794円

## **(8) 職員採用**

法人全体での不足状態は、無料の求人媒体やハローワークだけでなく、各施設の施設長が教育機関に連絡をし、関係性を築いていくなどの結果、常勤職員については、男性が新たに入職するなど効果は見られました。しかし、長期的な観点からみると不足状態がつづいてしまったことは否めません。そのような中でも、専門職については栄養士の採用ができ、日中の作業所に配置することが出来ました。そのほかの専門職に関しても、体制を整えるため積極的に調整をしました。看護職については、パート職員として雇用しました。

## **(9) 担当者会**

### **1) 防災環境**

#### **ア. ヒヤリハット・事故報告書の共有について**

継続することで書く習慣が定着してきました。引き続き担当者が中心となって、定期的に確認していきます。

#### **イ. 防災について**

実践的な避難訓練の実施に向けて各事業所で計画を作成し実施しました。非常食については、配慮食を食べている利用者もいるので購入する前に試食しました。

#### **ウ. 環境について**

各事業所、安心・安全で快適な環境作りを目指しました。年間でスケジュールを作成し一年を通して計画的に取り組むことが課題です。

### **2) 保健衛生**

各事業所の近況報告と情報交換を密にすることで課題の共有と連携を強めることが出来ました。口腔ケアについて研修に参加し、歯科医療に対する取り組みや現状を把握することにより通院の重要性など具体的な課題を意識することが出来ました。

### **3) 車両送迎**

#### **ア. 運転技術の向上について**

運転業務に携わる職員対象に東久留米自動車教習所で運転技能講習をおこないました。自らの運転を見直すことができ、安全意識が高まりました。

#### **イ. 車両管理について**

法人の所有する 18 台の車両管理表を作成しました。各事業所の修繕情報などを共有することで、早めの点検・修理につなげていけました。

### **4) 広報部会**

#### **ア. 定期発行について**

年 3 回の発行でした。会議日程の調整と原稿締め切りの厳守が課題です。

#### **イ. 内容の充実について**

法人の重点課題でもある食事支援についての特集を組み、発信していきました。更に特集の内容を深めていきます。各事業所の活動報告も定着しているので、継続していきます。

## 第2 事業別報告

### 1. 日中支援部門

#### (1) 重点課題

1) 通所責任者会議及びサービス管理責任者も参加した会議を開催しました。

通所責任者会議では、各事業所の利用者や緊急的な課題の解決と情報の共有を行いました。その中で、給食会議や法人研修会、事業報告会の企画を行うことができました。

2) 担当者会議（保健衛生、車両送迎、環境整備）ほぼ定着しています。

利用者の健康や安全のために感染症の予防や災害や事故に備えての訓練や情報の共有など事業所内で大きな役割を果たすことができました。

3) 法人研修会や事業報告会を通して、学び合い日々の実践を振り返る機会になりました。

各事業所内でさらに法人外の研修等にも参加し、専門的な知識を身に着けることが課題です。

#### (2) 通所事業所 新規事業（c a f eてん）の報告

市役所一階の喫茶コーナーの市からの貸与を受け、障害のある人の働く場として開店しました。障害のある人が、現在実習として接客や掃除等を行っており、来年度からは喫茶で働くことを通して社会とのつながりを広げていく機会にしていきます。また、地域の方々に喜んでもらえるようなメニューを検討します。

### (3) 各事業所の報告

#### 1) のぞみの家

##### ア. 運営状況

(ア) 開所日数 241日

(イ) 在籍者数 1日平均24.08人

(ウ) 平均工賃 月2,997円 賞与(夏2,000円)(冬2,000円)

(エ) 工賃総額 工賃総額899,280円

##### イ. 利用者の状況(2019年3月31日現在)

##### (ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
チャレンジ班	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7
たんぽぽ班	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
おひさま班	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
合計	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24

##### (イ) 居住地別

	東久留米	東村山	杉並	合計
チャレンジ班	5	1	1	7
たんぽぽ班	6	2		8
おひさま班	8	1		9
合計	19	4	1	24

##### (ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	自宅 (1人暮らし)	生活寮	合計
チャレンジ班	1	1	5	7
たんぽぽ班	3		5	8
おひさま班	3		6	9
合計	7	1	16	24

(エ) 年齢構成

	性別	～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	51～	計
チャレンジ班	男						1	1	1	3
	女				1			1	3	5
たんぽぽ班	男				2		2			4
	女				1	1	2			4
おひさま班	男			2			1			3
	女				3	1	2			6
合計				2	7	2	8	2	4	
平均年齢		男性 39.5歳			女性 44.0歳			合計 38.5歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者			愛の手帳 (知的障害)					
			1度	2度	3度	4度	なし	合計
身体 障害者 手帳	1種	1級	4	4				
		2級	1	2				
		3級		1				
		4級		1				
	2種	5級		2				
	なし							
	合計		5	10				

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
チャレンジ班	4	3		1			8
たんぽぽ班	7	1					8
おひさま班	9						9
合計	20	4		1			25

障害・疾患 (医療的ケア) の内容

脳性まひ 体幹機能障害 知的障害 視力障害 聴力障害 言語障害

てんかん レノクス症候群 小頭症 脳梗塞 捻転ジストニア レット症候群

自閉症 脊髄損傷 その他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		チャレンジ班	たんぽぽ班	おひさま班	合計
常時	自力移動可	3			3
	自力移動不可	1		8	9
状況により	外出時使用	1	4	1	6
	その他	1			1
独歩	要介助		4		4
	独歩	2			2
合計		8	8	9	25

ウ. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
現場会議	正規職員、非常勤職員	毎週1回
アセスメント モニタリング 会議	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
各班会議	サービス管理責任者、各班主任、各班担当職員	毎月1回
保健・車両・防災	看護師(保健衛生のみ)、担当職員	毎月1回
寮ケース会議	担当職員、各寮の職員、	毎月1回

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	
事務	1		1		2	
支援員	4	3	16			
調理員		1 (栄養士)	1			
運転手				3	3	
嘱託医		1			1	2ヶ月1回
看護師		1			1	週2回
会計				1	1	月1回以上
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年6回
合計	7	4	21	5	37	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤	非常勤	パート ①	パート ②	パート ③	パート ④	合計
施設長		1						1
事務		1		1				2
サービス管理責任者	チャレンジ班	1	1		2			3
	たんぼぼ班		2	2		2		6
	おひさま班		1	1		4		6
給食						2		2
運転手							3	
合計								

※パート①② (事務・実践) : 9時30分~17時00分、8時30分~、9時~、10時~

パート③ (給食) : 8時30分~14時15分

パート④ (運転) : 朝、帰りの送迎時間のみ

8時30分~10時      15時30分~17時



## エ. 重点課題

### (ア) 医療機関と連携します

日々の観察を丁寧に記録にしていきました。通院時に活用して医療機関と円滑な連携がおこなえました。

### (イ) 専門職と連携します

看護記録・訓練記録・検食簿を活用して連携していきました。各専門分野から利用者の支援を考えることができました。

### (ウ) 活動場所を変更します

活動場所を1階おひさま班、2階チャレンジ班、3階たんぼぼ班に移動しました。備品購入やスタッフ体制など利用者支援に混乱なく実施ができました。

### (エ) 仕事内容を見直します

仕事内容の整理と環境整備をおこない、利用者一人一人が考えて仕事ができるようにしました。喫茶“てん”への利用者実習もおこないました。

### (オ) 予算と活動を連動させます

予算提案書を各担当が提出して、活動に反映していきました。レク・行事の内容を責任をもって計画できるようになりました。

## オ. 各班の重点課題

### (ア) チャレンジドリームズ班

ア) ケーキ販売を通して社会との繋がりを大切にしていきます。

週1回ケーキ班会議を開催し、利用者が自ら意見を出し合い計画→製造→販売→売り上げ計算の流れを主体的に見通しを持ちながらすすめられました。

イ) 利用者自ら考え行動できるように環境を整えていきます。

ホワイトボードを活用し、予定や仕事内容などの情報を分かり易く伝え一人ひとりが主体的に行動できるようにしました。

### (イ) 元気なたんぼぼ班

ア) 個々の年齢や身体の状態に合わせた、柔軟な活動内容を考えていきます。

1週間の活動の中で、一人ひとりの体調や体力に合わせて仕事や体を動かす活動だけでなく、ゆっくり過ごし体を休める活動などメリハリを持って活動をしました。

イ) 五感を使った活動を取り入れていきます。

創作活動としてランプシェード作りをしました。手を使ってボンダ塗り素材の感触を感じたり、視覚を通していろいろな色の和紙を貼ったりしました。その中でボンダの感触を楽しんだりなど一人ひとり新しい発見がありました。

### (ウ) おひさま班

ア) 一人ひとりに合わせた活動をします。

その日の体調、体力等を考慮し、全員が常に同じではなく、一人ひとりの支

援の目的に沿った活動を行いました。

イ) 身体づくりの活動を大切にします。

PTによるストレッチプログラムや、リラクゼーションと楽しく体を動かすことを目的にしたプールレクを継続して行いました。日常の活動の中でも、自分の足でしっかり立つ、歩く、姿勢を変えるなど、機能維持に努めました。

## カ. 仕事

(ア) 自主製品 売り上げ 13, 120円

物品販売や作品展で販売しました。経費を考慮した値段設定をおこないました。

(イ) ケーキ 売り上げ 542, 654円

かふえ「てん」や多くの注文に対応できるようにスタッフ体制を整えました。

(ウ) 喫茶 売り上げ 5, 5842円

在庫管理をおこない、無駄なく計画的に販売しました。

(エ) お茶 売り上げ 85, 390円

在庫管理をおこない、廃棄が無いように販売しました。

(オ) オムツ 売り上げ 589, 006円

担当者と連携して、お金のやりとりのミスが無いように販売しました。

(カ) 布巾 売り上げ 14, 550円

臨時の注文に対応できるように、在庫管理をおこないました。

(キ) データ入力 売り上げ 7, 854円

確認作業を複数でおこない、ミスなく納期に間に合うように仕上げました。

(ク) リサイクル久留店 売り上げ 174, 303円

寒暖の影響で、開催回数が減ってきています。できることを丁寧に行いました。

(ケ) きょうされん物品販売 売り上げ 1, 656, 331円

全員で取り組む意識を大切に販売状況の確認や営業活動をおこないました。

(コ) 牛乳パック回収 売り上げ 9, 936円

回収場所が減ってしまいましたが、車を使用して回収をおこないました。

## キ. 消防報告

2月と3月に消防訓練・避難訓練をしました。内、1回は消防署の職員に来てもらい、通報訓練・避難訓練・消火器訓練を行いました。

最後に講話を貰い、3月に行った避難訓練時に頂いたアドバイスを活かすことができました。実践につなげられるような訓練が必要だという助言を頂いたので来年度以降に回数を増やして行きたいと思います。

## ク. 活動の報告

### (ア) 1日

9:00	受け入れ開始
10:00	朝の会
12:15	昼食
13:30	チャレンジ班 仕事開始
14:00	おひさま班・元気なたんぽぽ班 午後活動開始
15:30	終わりの会
16:00	送迎

### (イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	レク (月1回は 外出レク)
午後	ストレッチ パソコン ケーキ作り ダンス	ストレッチ パソコン ケーキ作り ボーリング	ストレッチ パソコン ケーキ作り トランポリン プール	自治会 パソコン ケーキ作り ボールプール 調理	

(ウ) 1年間

	のぞみ内 行事	地域行事
4月	花見 きょうされん春物品販売	
5月	利用者健康診断	
6月	おひさま班 宿泊行事	
7月	チャレンジ班 宿泊行事 きょうされん 夏季物品販売	特別支援学校夏祭り
8月		東京都障害者美術展
9月	たんぽぽ班 宿泊行事	いのちかがやけ作品展
10月		地域センターまつり
11月	きょうされん冬季物品販売	特別支援学校文化祭 けんちの里まつり 青少協まつり
12月		のぞみの家作品展
1月		市の作品展
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	
3月	きょうされんホワイトデー物品販売 がんばろう会 (のぞみ屋外で焼肉)	

## 2) 活動センターかなえ

### ア. 運営状況

(ア) 開所日数 241日

(イ) 在籍者数 1日平均19.8人

(ウ) 平均工賃 月1,600円 賞与8,300円

(エ) 工賃総額 工賃総額 580,800円

### イ. 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

#### (ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
なのはな班	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
だるま班	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
ちゅーりっぷ班	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10
合計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	22	22	22

#### (イ) 居住地別

	東久留米	三鷹	合計
なのはな班	5		5
だるま班	7		7
ちゅーりっぷ班	9	1	9
合計	21	4	22

#### (ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	生活寮	合計
なのはな班	3	2	5
だるま班	2	5	7
ちゅーりっぷ班	8	2	10
合計	13	9	22

(エ) 年齢構成

	性別	～	～	～	～	～	～	～	51	計
		20	25	30	35	40	45	50	～	
なのはなグループ	男	1				1			1	3
	女				1			1		2
だるま班	男	1		2	1	2				6
	女				1					1
ちゅーりっぷ班	男	1	1	1			1		1	5
	女		3			1			1	5
合計		2	4	3	2	3	1	1	3	22
平均年齢		男性 33.5歳			女性 34.4歳			合計 33.8歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び知的障害者			愛の手帳（知的障害）					合計
			1度	2度	3度	4度	なし	
身体障害者手帳	1種	1級	1		1			2
		2級						
		3級		1				1
		4級						
	2種	4級		1				1
		精神3級			1			1
		なし	1	3	3			7
		合計	2	5	5			22

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
なのはなグループ	1	3	1				5
だるま班	6	1					7
ちゅーりっぷ班	4	4	2				10
合計							

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 自閉症 ダウン症 精神障害 てんかん  
レノックス症候群 脳性マヒによる体幹機能障害 ルビンスタイン・タイビー  
症候群 動脈管開存症 他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		なのはなグループ	だるま班	ちゅーりっぷ班	合計
常時使用	自力移動可				
	自力移動不可			1	
状況により	外出時使用				
	その他				
独歩	要介助	1	1	4	6
	独歩	4	6	5	15
合計		5	7	10	22

ウ. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
現場会議	正規職員、非常勤職員	毎週1回
アセスメント モニタリング会議	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
各班会議	サービス管理責任者、各班主任、各班担当職員	毎月1回
寮ケース会議	担当職員、各寮の職員、	2ヶ月1回



(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	
事務		1	2		3	
支援員	4	2	9		15	
運転手			2	1	3	
嘱託医		1			1	4ヶ月1回
看護師			1		1	1ヶ月2回
会計				1	1	月1回以上
栄養士		1			1	週に1回
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年4回
合計	6	4	14	4	29	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤	非常勤	パート ①	パート ②	パート ③	合計	
施設長		1					1	
事務			1	2			3	
サービス管理責任者	なのはなグループ	1	1		2		1	3
	だるま班		1	1	4			6
	ちゅーりっぷ班		1	1	2			4
運転手						2	2	
合計		5	3	2	8	2	20	

※パート① (事務) : 8時30分~15時00分、

パート② (実践) : 8時30分~16時30分、9時~17時、9時30分~、  
10時~15時30分

パート③ (運転) : 朝、帰りの送迎時間のみ

8時30分~10時 15時30分~17時

## エ. 重点課題

(ア) 利用者支援では、来年度再来年度の利用者増を見通し、3 班編成から 4 班編成に移行できるよう活動の見直しを行い準備します。

活動ごとにグループ分けを行って部屋を分けて行うなど、落ち着いて活動できるよう工夫しました。引き続き班編成について検討します。

(イ) 来年度以降の利用者増に伴い、正規職員を2名採用(欠員分含む)

ハローワークなど利用し、求人を行いましたが増員には至りませんでした。引き続き職員の採用活動を行います。

(ウ) 事務機能の安定化をめざし、事務職員の勤務を増やします。

事務職員を非常勤採用し、勤務を増やしました。また、事務職員の産休に伴い、パートを2名採用しました。

(エ) 喫茶の開店に向けて準備し運営を開始します。

6月の開店に向けてメニューや備品などを準備し、開店しました。

## オ. 各班の重点課題

(ア) なのはなグループ

ア) 落ち着いて活動できる環境をつくっていきます。

気になる物を整理する事や静かな環境をつくる事により落ち着いて過ごせるようにしています。また、落ち着く事ができない時には、他の場所で過ごす事により気持ちを落ち着かせています。

イ) 見通しを持って活動できるようにします。

朝の会や活動の開始時に実際に使用する物を用意して何の活動をするのかを伝えています。その事により見通しを持って活動に取り組んでいます。

ウ) 身体機能の維持・改善を図ります。

定期的に活動の中でウォーキングを行いました。身体を動かす事により運動不足や体力の低下がないようにしています。また、医療やOTの先生と連携し活動の中で週に2回ストレッチを取り入れています。

(イ) だるま班

ア) 自己表現できる活動として創作活動を充実させます。

自己表現の場として、さまざまな画材を使用できるよう、また選択して行けるよう環境設定をしました。部屋を分けるなど集中して創作活動に取り組めるように環境づくりをしました。

イ) 『グッズデザインコンクール』『ぴゅああーと展』などの作品展に応募します。また発表する場として今年度も『作品展』を開催します。

今年も作品展の開催し、作品を見てもらえるように展示しました。『グッズデザインコンクール』や『ぴゅああーと展』応募し、『ぴゅああーと展』ではだるま班全員で描いた合作作品が選ばれ出品されました。

ウ) 昨年より、かなえに隣接した空き地の整備や情報誌などの配布を行っています。

空き地整備の仕事にも慣れてきており、それぞれの利用者に合った方法で取り組んでいます。情報誌などの配布にも見通しを持って取り組めるようになりました。また、アルミ缶つぶしの仕事にも少しずつ取り組んでいます

エ) 和紙作りの作業を分担しながら取り組みます。

それぞれの利用者に合わせて、ラミネートはがし、パックちぎり、紙漉きの作業に取り組んでいます。和紙が安定して製品化できるようになってきました。

#### (ウ) ちゅーりつぶ班

ア) 前向きに活動へ取り組めるようにしていきます。

自分の役割をしっかりと認識し、班の仲間同士が声を掛け合いながら行っています。班のみんなが、それぞれの場面でもとても良い表情で役割活動をしています。引き続き、取り組んでいきます。

イ) 自主製品を作成し、販売会を開催します。

利用者一人ひとりと話し合っって製品づくりをしています。今年度の手芸では、コースターを多く作りました。完成形が目に見えてすぐに分かり、次への意欲につながっていました。販売会では全員の製品を並べることができました。

ウ) 身体機能の維持・改善を図ります。

健康面の相談を専門家の方々にしています。今年度は、食事について改善を図っています。引き続き、医師、看護師、栄養士などと連携して、健康の維持・改善を図っていきます。

#### カ. 仕事

(ア) 資源回収 売り上げ 163,366円

利用者が主体となって見通しを持って取り組んでいます。

回収作業中に近隣の方から声がかかり不定期ではありますが、回収場所が増えています。今後も地域とのつながりも大切に取り組んでいきます。

(イ) 市報配布 売り上げ 291,240円

配布先の地域に慣れ配布するスピードが上がってきています。配布忘れなどないように確実に配布していきます。

(ウ) 自主製品 売り上げ 32,230円

今年度は新たにコースターや和紙の小物を販売しています。ボンボン製品もいろいろな商品に仕立て店頭で並べることができました。今回は和紙の大判がよく売れ、また利用者の絵画1点が今年も売れています。3日間で利用者のご家族だけでなく、一般のお客さまも購入していました。来年度もなかまの家と合同で開催する予定です。

(エ) 空き地整備 売り上げ 213,240円

市より委託を受けて、かなえに隣接する空き地の整備を行っています。草を抜き、抜いた草を集めて、ゴミ処理場まで持っていき捨てています。道具などを使うときには安全に気を付けて行っています。堆肥を作ることはできましたが、製品化まではできませんでした。

(オ) 情報誌ばど配布 売り上げ 55,887円

今年度の夏は猛暑が厳しく、9月の学園町配布分(400部)をキャンセルしています。利用者の健康状態を考慮しながら、配布期日をしっかり守って作業することができました。引き続き、車や歩行者に気を付けて安全にポスティングしていきます。

(カ) 物品販売 売り上げ 880,590円

きょうされんの物品販売のカタログを利用し年4回(春、夏、冬、バレンタインデー)取り組んでいます。定期的に行うことで安定したお得意先も徐々に増えています。配布先を少しずつ広げ、新規購入者も少しずつ増えているので、お得意様として定着化するように取り組んでいきます。物品販売に取り組む時は目標金額を掲示しました。また、発注間違いなどがないように、注文確認の電話を必ずします。

(キ) 喫茶 売り上げ 3,138,280円

## キ. 消防計画

月に1度程度、合計で9回避難訓練を行いました。利用者の身の安全の確保の訓練の他に、通報訓練や避難経路の確認など、様々な形で行っています。うち1回は消防署員に来ていただき総合訓練を行いました。

ク. 活動の報告

(ア) 1日

時 間	なのはなグループ・だるま班 ちゅーりっぷ班	スタッフ
8:30 8:40 10:00 12:00	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業→休憩 休憩→室内作業 外作業 昼食・休憩	朝礼 送迎開始・準備・会議等 活動支援 昼食支援 片付け・活動準備 活動支援
13:30	室内作業 外作業 (休憩)	↓ 送迎
15:00 15:30 17:00	室内作業 外作業 帰りの会	片付け・会議  終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	外作業 資源回収 室内作業 ウオーキング	外作業 室内作業 ウオーキング	外作業 資源回収 室内作業 ウオーキング	外作業 室内作業 ウオーキング	外作業 室内作業 ウオーキング
午後	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウオーキング	外作業 創作 ウオーキング ※自治会	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウオーキング	外作業 室内作業 創作 ウオーキング	外作業 室内作業 創作 ウオーキング

- ・ 外作業… 広報(チラシ)配布、情報誌ぱど配布、空き地整備
- ・ 室内作業… 和紙製作、さきおり、手芸、広報(チラシ)折り
- ※自治会… 週1回実施 ※調理… 月1回実施

(ウ) 1年間

	かなえ内 行事	地域行事
4月	歓迎会	
5月		きょうされん東京支部 とうきょう大会
6月	なのはなグループ 宿泊行事 利用者健康診断	
7月	だるま班 宿泊行事 きょうされん 夏季物品販売	
8月		
9月	ちゅーりっぷ班 宿泊行事	いのちかがやけ作品展 きょうされん全国大会
10月	新入所・新成人を祝う会 わたしたちの作品展	
11月	手作り品販売会 きょうされん冬季物品販売	
12月	クリスマス会	
1月		
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売	

### 3) なかまの家

#### ア. 運営状況

(ア) 開所日数 241日

(イ) 在籍者数 1日平均15.1人

(ウ) 平均工賃 月2,000円 賞与13,000円

(エ) 工賃総額 工賃総額 555,000円

#### イ. 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

##### (ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
さくら班	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
りんご班	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16

##### (イ) 居住地別

	東久留米市	西東京市	清瀬市	合計
さくら班	8	1		9
りんご班	6		1	7
合計	14	1	1	16

##### (ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	自宅 (1人暮らし)	生活寮	合計
さくら班	5		4	9
りんご班	6		1	7
合計	11		5	16

(エ) 年齢構成

	性別	～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	51～	計
		さくら班	男			1		2	1	2
	女			1		1	1			3
りんご班	男			2		2	1			5
	女			1		1				2
合計				5		6	3	2		16
平均年齢		男性 39.3 歳			女性 36.2 歳			合計 38.3 歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		1	1			2
		2級		2				2
		3級		1				1
	2種	2級						0
		3級		1				1
		4級						
	なし		9	1			10	
合計		14	2			16		

※精神障害者手帳所持者（3級）1名

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
さくら班	6	1	2				9
りんご班	7						7
合計	13	1	2				16

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん 自閉症 ダウン症

第五染色体異常症 脳性マヒによる体幹機能障害 その他



(カ) 車いすの使用状況

利用状況		さくら班	りんご班	合計
常時使用	自力移動可			
	自力移動不可		2	2
状況により 使用	外出時使用	1		1
	その他	1		1
独歩	要介助	5	5	10
	独歩	2		2
合計		9	7	16

ウ. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、全職員	毎月1回
現場会議	サービス管理責任者、職員、	毎月1回
各班会議	各班主任、職員	毎月1回
リーダー会議	施設長、各班主任	週1回
健康・防災・車両 きょうされん	各担当職員	毎月1回
寮支援者会議	担当職員、寮職員	2ヶ月1回
モニタリング会議	サービス管理責任者、各班主任、職員	随時

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	兼務
事務		1			1	
支援員	3	1	8		12	
運転手				1	1	
嘱託医		1			1	2ヶ月1回
看護師		1			1	1ヶ月2回
会計				1	1	月1回以上
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年3回
合計	4	4	8	4	21	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤	パート	委託	合計	
施設長		1			1	
事務		1			1	
サービス 管理者	さくら班	1	2	3	1	5
	りんご班		2	3		5
給食				1	1	
運転手				1	1	
合計		7	6	2	13	

※パート：8時30分～、9時～、～16時、～16時30分、～17時、状況によっていろいろ、

※委託 給食運搬（配膳）：11時30分～13時

※委託 運転手（運転）：朝・帰りの送迎のみ 8時30分～10時、15時30分～17時、

## エ. 重点課題

(ア) 利用者にとって食べやすくおいしい給食を提供していきます。

一人ひとり利用者の姿から食事(食形態、食具、食事の姿勢)について栄養士にアドバイスをもらいながら検討しました。

(イ) 職員は内外の研修に積極的に参加し支援にいかしていきます。

法人内の研修には参加することができましたが、法人外の研修は積極的な参加までには至りませんでした。来年度は年間計画を作成し学べる環境を整えていきます。

(ウ) トイレの改修をしていきます。

障害の進行から介助の工夫が必要となり多目的室の床などの改修工事を優先的に行いました。トイレの改修は行うことができませんでした。

(エ) 車両の買い替えをしていきます。

東京都共同募金会 A 配分の助成を利用し買い替えを行いました。

## オ. 各班の重点課題

(ア) りんご班

ア) 楽しみながら活動に参加できるように支援します。

テーブルをつなげ囲むような形で陶芸や創作の活動を行いました。始める前には作業の説明をし、終わった後完成したものを発表し一緒に活動していることの雰囲気作りが出来ました。

イ) 気分転換をします。体を動かしていきます。

散歩を積極的に取り入れ気分転換することで、気持ちに安定して作業に関われるようになっていきます。

(イ) さくら班

ア) 活動の見通しが持てるよう活動前に活動内容やバディなどを説明します。

状況により個人個人に合わせて声掛けをすることで、見通しを持って活動することができました。

イ) 創作、調理等のスケジュールを作成し活動を行います。

スケジュール作成が遅くなってしまったので、計画的に進めていきます。

## カ. 仕事

ア) 資源回収 売り上げ 183,657円

回収先の曜日の見直しをしました。回収した資源の保管場所の整理整頓をするように検討していきます。

イ) 缶つぶし

足や2台の缶つぶし機を稼働させ、利用者に合わせた支援で効率を上げ、缶つぶし機のキャスターの補修をしました。今後も必要に応じて、機械のメンテナンスをしていきます。

ウ) パック整理 売り上げ 16,136円

丁寧やり取りをしながら、一枚ずつ汚れを拭き取れるように支援しました。又、回収箱の軽量化で持ち運びやすく、折りたたみ式で保管にも便利になり安全に取り組みやすくなりました。

エ) 市報配布・ぱど配り 売り上げ 310,725円

事前準備の配布物を折る作業は籠を用意し、利用者の作業として定着しています。新築の戸建ての家が増えてきているため、配布場所の地図の作成や配布部数など改めて確認が必要です。

オ) チラシ配り 売り上げ なし

今年度は受注がありませんでした。

カ) 自主製品 売り上げ 23,263円

手芸では「ビンオープナー」や「クロスステッチ」、陶芸では、皿を作り、販売会などで販売しました。「ビンオープナー」は少しずつ注文が入っています。

キ) ボーナスへの取り組み(物品販売) 売り上げ 910,963円

昨年度よりお得意さまの数も増えて売り上げも増加しています。ボーナスの金額も昨年度より多く支払うことができました。

ク) 注文・販売に関して 売り上げ 307,505円

お茶の注文販売は販売の時期を検討しながらお得意さんや利用者、スタッフにチラシを配布し昨年度より売り上げを伸ばしています。しかし、注文金額によって送料が発生してしまうので、引き続き販売時期の検討が必要です。

## キ. 消防計画

火災・地震訓練を利用者中心に行いました。訓練などの総合訓練を行うことができませんでした。今後、年間スケジュールを組み計画的に取り込みことが課題です。

## ク. 活動の報告

### (ア) 1日

時 間	りんご班・さくら班	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始
9 : 3 0	受け入れ開始	準備・会議等
10 : 0 0	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 2 : 0 0	室内作業 外作業 昼食・休憩	昼食・昼食支援 片付け・休憩
1 3 : 3 0	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 5 : 0 0	室内作業 外作業 帰りの会	送迎
1 6 : 0 0	送迎	片付け・清掃・会議
1 7 : 0 0		終礼

### (イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・プールA班 B班隔週 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業
午後	・外活動 ・室内作業	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング	・自治会	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業

・外作業…資源回収、パック卸し、広報（ぱど、チラシ）配布、買い物、ウォーキング（散歩）、缶つぶし

・室内作業…パック整理、広報折り、調理活動、創作活動（陶芸、絵画、クロスステッチなど）さきおり、手芸、等々。

※自治会…毎週1回実施、室内レク年2回実施、体重血圧測定…毎月1回実施

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
5月	新茶販売	
6月	りんご班宿泊行事	
7月	きょうされん夏季物品販売、お茶販売 さくら班宿泊行事	
8月	きょうされんデザインコンクール作品応募 夏季休業	
9月	利用者健康診断（2回）	いのちかがやけ作品展
10月	新入所者新成人を祝う会／交流会（法人合同）	
11月	きょうされん冬期物品販売、お茶販売 インフルエンザ予防接種 「わたしたちの作品展」開催 「手作り品販売会」開催	
12月	ぴゅああーと展作品応募、 日本財団 DIVERSITY IN THEARTS 展応募 冬期休業	
1月	きょうされんバレンタイン物品販売	
2月	お茶販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされん春物品販売、ボーナス支給	

## 2. 生活寮部門

### (1) 共同生活援助（共同生活援助サービス費 世話人配置4：1）

#### 1) 運営状況

ア. 開所日数 365日

イ. 在籍者数 うみ7名、そら7名 にじ7名 かぜ7名 計28名

#### 2) 利用者の状況（2019年3月31日現在）

ア. 利用状況（年間78.4%）※利用日数は月の日数×ユニット定員数（7名）

	4月 30日	5月 31日	6月 30日	7月 31日	8月 31日	9月 30日	10月 31日	11月 30日	12月 31日
利用日数（日）	210	217	210	217	217	210	217	210	217
うみ（日）	190	171	159	166	166	158	167	163	158
利用率（%）	90.5	78.8	75.7	76.5	76.5	75.2	77.0	77.6	72.8
そら（日）	172	182	172	182	180	166	185	179	171
利用率（%）	81.9	83.9	81.9	83.9	82.9	79.0	85.3	85.2	78.8
にじ（日）	169	176	170	175	164	130	173	171	157
利用率（%）	80.5	81.1	81.0	80.6	75.6	61.9	79.7	81.4	72.4
かぜ（日）	181	187	187	182	167	144	153	159	150
利用率（%）	86.2	86.2	89.0	83.9	77.0	68.6	70.5	75.7	69.1
合計（日）	712	716	688	705	677	598	678	672	636
利用率（%）	84.8	82.5	81.9	81.2	78.0	71.2	78.1	80.0	73.3

◎東京都のグループホームへの加算制度が1月から変更。

※利用しないと補助金が減額

利用日の考え方…1時間でもグループホームを利用されていれば、利用日としてカウントされます。

※国の加算制度を利用できる

現在、福祉専門職員配置等加算・夜間支援等体制加算・医療連携加算・重度障害者支援加算・帰宅時支援加算・医療連携体制加算を取っています。

	1月 31日	2月 28日	3月 31日	合計 365日
利用日数（日）	217	196	217	2,555
うみ（日）	160	176	187	2,021
利用率（%）	73.7	89.8	86.2	79.1
そら（日）	164	160	179	2,092
利用率（%）	75.6	81.6	82.5	81.9
にじ（日）	137	149	164	1,935
利用率（%）	63.1	76.0	75.6	75.7
かぜ（日）	142	149	163	1,964
利用率（%）	65.4	76.0	75.1	76.9
合計（日）	603	634	693	8,012
利用率（%）	69.5	80.9	79.8	<b>78.4</b>

## イ. 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
うみ	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7
そら	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
にじ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
かぜ	7	7	7	7	7	7	6	6	6	7	7	7
合計	28	28	28	28	28	28	27	27	26	28	28	28

## ウ. 居住地別

東久留米	東村山	清瀬市	西東京市	合計
24	2	1	1	28

## エ. 日中活動の場

法人内			法人外		合計
のぞみの家	活動センターかなえ	なかまの家	福祉作業所	一般就労	
14	7	5	1	1	28

## オ. 年齢構成

性別	～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	51～	計
女				3	3	2	4	1	13
男			2	2	2	7	1	1	15
合計			2	5	5	9	5	2	28
平均年齢	男性 40.2 歳			女性 42.0 歳			合計 41.1 歳		

## カ. 障害区分

### (ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1種	1級	1	5	1	3	0	10
		2級		3				3
		3級						0
		4級		1				1
	2種	5級					1	1
	なし		1	10	2	1		14
	合計		2	19	3	4	1	28



(イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
合計	23	4					1	28

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん レノックス症候群 自閉症

脳性麻痺による体幹機能障害 ダウン症 小頭症 精神障害 その他

キ. 車いすの使用状況

常時使用		状況により使用		独歩		計
自力移動可	自力移動不可	外出時使用	その他	要介助	独歩	
1	5	1	1	5	15	28

ク. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	寮長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
ユニット会議	寮長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
アセスメント・モニタリング	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
日中とのケース会議	担当職員、各寮の職員、	毎月1回
責任者会議	寮長、副寮長、各担当	週1回

(イ) 運営体制 (述べ人数)

	常勤職員	非常勤職員	パート	委託	計	備考
寮長	1	0	0	0	1	
サービス管理責任者	1	0	0	0	1	
事務	1	0	0	0	1	
うみ	2	0	1 0	0	1 2	
そら	2	2	4	0	8	
にじ	2	0	1	0	3	
かぜ	2	0	5	0	7	
嘱託医	0	0	0	1	1	適宜
会計士	0	0	0	1	1	月1回以上
労務士	0	0	0	1	1	適宜
清掃	0	0	0	1	1	週2回
計	1 1	2	2 0	4	3 7	

日課表

日勤：08：30～17：15 (07：00～15：45)

早番：07：00～10：00 (06：00～10：00)

遅番：15：45～21：00 (15：45～23：00)

夜勤：15：45～翌日10：00 (2時間30分の休憩を含む)

(勤務例として)

スタッフA	月	火	水	木	金	土	日	計
	夜勤		夜勤		早番：遅番			
	16h		16h		8h			40.0h
スタッフB	月	火	水	木	金	土	日	計
		夜勤		夜勤		早番：遅番		
		16h		16h		8h		40.0h

### 3) 重点課題

今年度は2名の利用者が退寮し、このケースについてスタッフ間では、相当な議論を重ねました。暮らしの場における「利用者本人の自己決定」がどこまで生かせるのか、障害者福祉全体の課題や、これからのわたしたちスタッフの今後の支援のあり方にも新たな課題ができました。また、生活寮うみの浴室のバリアフリー化工事を行うことができ、利用者及びスタッフにとっても負担のない環境づくりができました。今後とも建物の改修も含めて環境づくりの改善を図っていきたいと考えています。利用者の暮らしを支えていくために、法人内の通所施設と定期的な調整会議ができ、日中の姿も生活寮でも共有することができました。更に、法人外の事業所との連携も検討していきたいと考えます。

#### ア. 入居者一人ひとりがその人らしい生活を送るための支援の実施

利用者の生活寮での生活も年数を重ねてきています。今年一年もさまざま経験や出会いがあったと思います。日常の生活がともすると繰り返しにとらえがちなか中、その人の人生そして家族の人生に視点をあてることの大切さにも注目しました。特に、亡くなられた最愛の家族との絆にも思いを寄せていくことの大切さも話し合い、言葉かけも含めて丁寧に取り組みました。

#### イ. スタッフ同士の報告、連絡、相談できる組織づくり

月に1度の職員会議の他に、ユニット会議（うみそら・にじかぜ）を定期的（月に1度）に開催。また、責任者会議を設け、各ユニット・事業所間の状況を把握できる仕組み等に取り組みました。さらに必要な会議（女子寮・男性寮会議）も開催しました。

#### ウ. 365日利用に対応した体制づくり

現在28名の利用者の生活を支援していますが、利用者だけでなく家庭支援も必要な場面もありました。人材不足のためシフト体制が取れない時期もありましたが、4つのユニットを活用して利用者の支援を行うことができました。

#### エ. 制度を理解して活動を行う

今年度1月から東京都のグループホームに対する都加算制度の変更に伴い、国の報酬制度における加算を取ることができました。ただ、国の制度は2年ごとに変更されており、制度の仕組みの理解を徹底し運営に影響がないよう取り組む必要があります。また、都加算制度の対象事業となるためには第三者評価を受けることが義務となりました。あらためて、契約、記録、業務等々の点検を行っています。

#### 4) 各棟の重点課題

##### ア. 生活寮うみそら

###### (ア) 生活環境を整えます。

ダイニングキッチンに台を置いて、車いすを降りてみんなと一緒に過ごせる場を作りました。共有スペースと自室を使い分けて、集団生活の楽しみと部屋でゆっくりと落ち着いた暮らしができるようにしました。また、年齢を重ねた利用者の誕生日には、食べたいものをリクエストしてもらい楽しくお祝いしました。行事の少ない寮ですが、クリスマスには家族の方にも参加していただき、好きなものでデコレーションしたケーキを作りみんなで楽しい一日を過ごしました。今後の課題としては、利用者の部屋を趣味や生きてきた歴史が分かる写真を飾ってその人らしい空間作りに努めていきたいと思えます。

###### (イ) 加齢に伴う健康・体調の管理を丁寧に行っていきます。

浴室のバリアフリー化は、利用者にとってもスタッフにとっても使いやすい改修ができました。利用者の個別支援計画を軸に日中の事業所とも定期的に会議を開催し情報共有ができました。その中で、利用者の年齢や健康管理に必要な専門病院につなげました。さらに通院同行をすることで、利用者を中心に家族・事業所・専門職との連携がとれる環境が作られています。

訪問看護・OT・かかりつけ医・栄養士などの専門職との連携で、通院の判断や姿勢、一人ひとりにあった食事形態など相談・アドバイスがもらえる環境が作り上げられています。今後も専門職との連携を深め、利用者や支援する生活寮スタッフが安心できる環境づくりに努めていきます。

##### イ. 生活寮にじかぜ

###### (ア) 食事環境の改善を図ります。

個々の咀嚼・嚥下などできることにあわせて食べにくいものはとろみをつける、食事のペースが速い利用者には量を変えず数回に分けてゆっくり食事を楽しめる工夫をすることで安全な食事提供を現場職員・スタッフ・賄いスタッフで試行錯誤をしました。しかし、ご家庭への聞き取りや専門家との連携についてはまだまだ不十分であり、利用者一人ひとりに合った食事環境を整えていくことが今後の課題となります。

###### (イ) 余暇の充実を図ります。

仕事や生活していく中で、暮らしに彩りをもたせていくために、ひとりで音楽を聴きながら身体を休めたり、スタッフや他の利用者と一緒に好きな雑誌やテレビをみてリラックスする環境を作りました。利用者の好きな時間として大切にすることで生活の場らしい余暇時間を作ることができてきています。また、リビングのテレビを付けることでスタッフ・利用者と集団で一緒に過ごす時間が増え、交流する機会にもなりました。ご家庭での過ごし方などを参考にして、

余暇の選択を増やしていきます。

## ウ. 共通の課題

### (ア) 食事の提供について

利用者一人ひとりに合わせて食べやすい食事形態を配慮しました。そうすることで、安心して快適な食事の時間にすることができました。

家庭と寮とで食事の形態が異なる事では、今後家族との確認の場を設けていこうと思います。

### (イ) 健康・医療について

定期的に参加する事により情報共有ができ、法人全体で感染症対策や、予防を心がけることが出来ました。

### (ウ) 防災管理・環境について

防災管理については、各ユニットで避難訓練を計画的に実施してきました。当初計画での防火・防災管理者講習の受講者を増やすことは出来ませんでした。が、月 1 回の日中支援部門の会議に参加することで、法人内の情報の共有ができるようになりました。しかし、備蓄品確保や防災グッズの購入・個別の避難セットなどの整備はまだ出来ておらず緊急時に備えていきます。

### (エ) 職員に関する計画について

定期的な会議を行い、情報共有・意見交換を行なえるよう環境整備を進めました。また、日中部門の会議に参加したことで法人全体の情報の共有も少しずつですが出来るようになりました。

外部研修には強度行動障害者支援者研修や胃ろう・吸引研修など支援に必要な研修を中心に受講しており、今後も受講者を増やしていけるように環境整備をすすめて行きます。

### (オ) 地域との連携について

工事期間中のご協力をいただくための挨拶回りを近隣へ行なってきましたが、地域の自治会活動に参加することは出来ておらず、障害者のGHへの理解・協力してもらえそうな関係を作れるようにしていきます。

### (カ) 施設整備について

浴室の滑り止め等事故防止の備品の購入や車両の整備・修繕、うみそらのエレベーターワイヤー等の交換工事や外壁の修繕工事、冷蔵庫や電話機などの設備品購入、にじかぜではキッチン・トイレなどの水回りの修繕等を掲げていました。外壁修繕や冷蔵庫の購入は実施できました。緊急性が高かったため当初予定していたにじかぜ外壁修繕の予算を使い生活寮うみの浴室のバリアフリー化を図りました。バリアフリーの浴室にした事で、車椅子の利用者、歩行が不安定な利用者も以前に比べ格段に安全な入浴環境を整えることができました。

車両の修繕などは、未実施の為、今後計画に基づき実施していきます。

## キ) 消防訓練

今年度は予定通りに避難訓練・防災訓練を実施することが出来ました。そのうちの1回は実際に発電機の稼働を職員全員で確認することができました。しかし、防災用品の購入や非常食の保管などまだ整備できていないものもある為、早急に整えます。

### (2) 生活寮にじ・かぜ短期入所

#### 1) 運営状況

ア. 開所日数 189日

イ. 在籍者数 15名

#### 2) 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

ア. 利用状況表

月	定員	月毎の人数枠③	利用実績④	稼働率⑤=④/③×100
4月	2名	32名	18名	56.3%
5月	2名	34名	20名	58.8%
6月	2名	32名	18名	56.3%
7月	2名	34名	18名	52.9%
8月	2名	30名	14名	46.7%
9月	2名	30名	11名	39.3%
10月	2名	36名	12名	33.3%
11月	2名	34名	10名	29.4%
12月	2名	30名	11名	36.7%
1月	2名	30名	11名	36.7%
2月	2名	30名	13名	43.3%
3月	2名	28名	12名	42.9%
合計	2名	378名	168名	44.4%
平均値	2名	31.7名	14.0名	

※利用可能日については、現在体制上、月～木の4日間のみ。

### 3) 重点課題

ア. それぞれの利用者のニーズに沿った支援を行います。

以前より出ていた連泊もしくは月に複数回の利用の要望については、家庭や日中作業所との連携で何名か実現することが出来ました。連泊でも利用者本人に安心して泊まってもらえるよう支援しました。

イ. 85%の稼働率を目指します。

今年度利用稼働率は44.4%（前年度49.3%）でした。体制の問題で生活寮にじのショートステイの受入が出来ませんでした。稼働率が上がらない要員として定期的に利用していた方がグループホームに入所したことも影響しています。

### 3. 余暇・居宅部門

#### (1) 重点課題

1) 関係機関と連携し、こどもたちにとって安心して過ごせる場所を提供します。

発達相談室、教育相談室、こども家庭支援センター、病院、学校、他事業所とこどもたちの活動や様子について情報を共有します。また必要に応じて関係機関とケース会議を開き、こどもたち一人ひとりに合った支援を見出し、実践します。

2) 自分の気持ちや要求を様々な方法（言葉やカード）で伝えることができるようにします。

学年別グループや少人数グループでの活動を行うことで、一人ひとりが自分の気持ちが出せる環境を作ります。

3) 人との触れ合いの中で、社会性を身に付けながらスタッフと共に成長します。

集団での遊びを通して、約束やルールを守れるようにします。また、遊びの中で楽しく学習すること、集団の中で手を使うことで操作性が身につくようにします。

4) 生活していく上でごく普通と思われるような活動（昼食作り、おやつ作りなど）を積極的に取り入れていきます。

こども達と一緒にメニューを考えたりレシピを作ったり準備します。また将来を見据えて、自分で作ることができるように活動も工夫していきます。

5) 地域の人達と交流ができるように公共施設等に出掛け、行事に参加します。

児童館など地域のこども達と遊ぶことができる環境を提供します。また、様々な行事に参加し、多くの人と関わりが持てるようにします。

6) 安心して活動に参加できるようにします。

火災、地震などの避難訓練を定期的に実施します。また、手洗い・うがいなどの予防といった環境整備を行います。

#### ア. 放課後等ディサービス事業報告

一人ひとりに快適な居場所を提供したいと考え年齢、学年にはとらわれない活動も行って、その中でお互いを意識したりやり取りも少しずつ増えてきています。手を使うことで操作性を高める活動を継続していき、こども達自身から考えて創作をする場面が増えてきています。長期休暇時は、協力して食事作りをして、「食べる文化」を学習していきました。

長期休暇のつどに継続して行っている活動なので、自分の家で作ってみたり野菜の苦手な子の偏食改善にも繋がり、食べることの大切さも学ぶこともできました。



(2) 各事業所の報告

1) 放課後等デイサービス

ア. 運営状況

(ア) 開所日数 247日

(イ) 在籍者数 35人

イ. 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 人数構成

<登録者数> 35名

<1日の活動者数> 10名

(イ) 居住地別

<利用者居住地> 東久留米市35名

(ウ) 年齢構成

	性別	未就学 児	小学1 ~2年	小学3 ~4年	小学5 ~6年	中学1~ 3年	高校1 ~3年	成人	合計
利用者	男	2	5	9	7	9	9	1	42
	女	0	1	1	1	2	3	4	12
合計		2	6	10	8	11	12	5	54

(エ) 障害区分

ア) 手帳(日中一時・移動支援を含む)

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳(知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1種	1級		2				2
		2級		1				1
		3級			1			1
		4級			1			1
		5級						
	2種	1級						
		2級						
		3級			1			1
		4級	1					1
		5級						
精神3級						2	2	
なし		1	10	14	13	7	45	
合計		2	13	17	13	9	54	

イ) 障害支援区分

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2 (該当なし)	区分 1 (該当あり)	合計
放課後等デイサービス					24	11	35
合計					24	11	35

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 てんかん レノックス症候群 自閉症 脳性マヒによる体幹機能障害 ダウン症  
精神障害 その他

(オ) おもな学校

東京学芸大附属特別支援学校

清瀬特別支援学校

東久留米市立第三小学校 すずかけ学級・普通学級

東久留米市立第七小学校 しらゆり学級

東久留米市立神宝小学校 わかば学級 なのはな学級

東久留米市立南町小学校 たけのこ学級

ウ. スタッフの状況 (平成30年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
アセスメント・モニタリング会議	施設長、正規職員、非常勤職員	随時
保健・車両・防災	看護師（保健衛生のみ）、担当職員	毎月1回

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
事務			1		1	
支援員	2	1	15		18	
運転手						
看護師						
会計				1	1	
労務士				1	1	
合計	3	1	16	2	22	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤		非常勤	パート	合計	
施設長		1				1	
事務					1	1	
サービス管理 者	放課後等デイ サービス	1	1	1	2	1	4
合計		3		1	3	7	

エ. 消防計画

事前に計画を担当者が立て、職員みんなで話し合いながら進めて行きます。

そのため、訓練の内容・実施方法は、パート職員を含めて多くの人に伝える事で、このみ全体の防災意識向上につなげられるようにしていきます。

## オ. 活動の報告

### (ア) 1日

授 業 日	13:00～	送迎	休 業 日	10:00	活動開始
	13 : 30 ～	活動開始		12:00	お昼
	17:30	あいさつ 送迎		13:30～15:30	午後活動開 始
	18:00	家族お迎え		15:30～	あいさつ 送迎
				16:00	家族お迎え

昼食作り（長期休暇中）・おやつ作り・ゲーム・創作・外遊び・買い物

### (イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午 前	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り
午 後	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)

## (ウ) 1年間

5月	こどもまつり
7月	清瀬特支夏祭り イリアンソス夏祭り
8月	夕涼み会 おひさまサンサンフェスティバル
9月	いのちかがやけ作品展
10月	他事業所合同ハロウィンパレード
12月	にぎやかカーニバル
3月	ぽかぽか春の集い

## 2) 移動支援事業

### ア. 重点課題

(ア) 法人内生活寮の成人の方のニーズに応じていけるようスタッフ体制を整え、市内だけではなく、市外の広域にも求人募集を行います。

必要に応じて生活寮とケース会議を行い、利用者の実態やニーズを把握します。

(イ) 利用者個々の支援方法を統一化します。

ケース記録を残し、統一した支援ができるようスタッフ間での情報提供を行います。また、支援の目的を明確にします。

(ウ) トラブルが行ってしまった時に備えてマニュアルをスタッフ会議などで確認します。

屋外での活動が多い為、支援中のトラブルに落ち着いて対応できるようにスタッフ会議で確認したり、掲示していきます。

(エ) 利用者の将来を見据えての支援を行って行きます。

利用者が将来、自分で登校、帰宅ができるように利用者本人が考えて行動できるような支援体制を整えます。

(オ) 移動支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行います。

移動という生活の一部を安心・安全に利用できる制度になるように関係機関とやり取りを行います。

### イ. 移動支援事業報告

移動支援事業では、ただの移動する手段だけではなく、依頼ごとに目標、テーマを決めて支援を行いました。移動支援を利用することで様々なことを学ぶことができます。そこから自信がつき様々な活動にも積極的な一面が増えてきました。本人の持っている力を引き出す大切さと難しさ。を考えることができました。

成人に関しては、平日には定期健診の支援を行いました。毎週土曜日には定期的に支援を行うことができました。生活寮の担当者、他の移動支援事業者間でも連携を取ることができました。

### 3) 日中一時支援事業

#### ア. 重点課題

(ア) 家庭環境に課題のある家族が安心して利用できる場を提供していきます。

保護者と学校、その他関係機関と連携を取り、利用者の実態や家庭状況を把握し、個々に合った支援を行います。

(イ) 利用者個々の支援方法を統一化していきます。

支援を記録に残し、統一した支援ができるよう、スタッフ間での情報提供を行います。また得た情報は管理を徹底します。

(ウ) 日中一時支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行います。

様々な理由で利用が多くある制度です。安心・安全に利用できる制度になるように関係機関とやり取りを行います。

#### イ. 日中一時事業報告

今年度もわかくさ学園発達相談室と連携して、未就学児を抱えて悩んでいる母親やわかくさ学園に入園できなかった子どものサポートを午前中におこなってきました。母親や子どもたちにとって居心地の良い環境を作り子育て相談もおこないました。今後も要望が増えてくることが予測されます。学校に通う事が難しい子どもたち（不登校）への登校支援をおこない、時間をかけて支援する中で子ども自身から折り合いをつけて、学校の先生や病院などと連携を取ることができました。

引き続き、安心できる場所を提供していきます。嬉しいことに、以前このみを利用していたこどもたちが中高生になり、このみの活動に興味を持ち、利用者としてではなく活動の手伝いをしたいというボランティアの方が本年度も活躍してくれこのみの活動を支えてくれました。また、ボランティアをしてくれた中高生の相談にもものることができました。各学校・障害福祉課・子ども家庭支援センター・児童相談所、発達相談室、利用者の主治医と連携を密に行っていく中で支援の仕方を確認し合い、連携することができました。

#### 4. 相談部門

##### (1) 重点課題

1) 引き続き法人内事業所の方を中心に計画相談・モニタリングをおこなっていきます。

ご本人・家族との信頼関係を築いていけるよう面談等を丁寧に行っていました。本人中心の計画にしていくために、本人の生活に関わりのある支援関係者からも話を聞いていきました。

2) 障害のある方を中心に家族・関係者のつながりを大切にしていきます。

担当者会議・支援会議等を開催し本人の思いや希望を確認しあいながら、その人らしい暮らしに向けて、役割分担等をしていきました。関係する事業所の個別支援計画につなげていけるよう連携していきました。

3) 相談支援の役割や今後の進め方について考えていきます。

定期的な相談支援部門会議で検討していきました。また、他相談支援事業所と情報交換をおこなう等連携し、外部研修にも積極的に参加していきました。

## 5. 事務部門

### (1) 重点課題

#### 1) 法人全体で事務の一本化を図ります。

各事業所行っていた業務内容を簡素化・標準化を進めるため、環境の設備と業務の分掌を進めていくことができました。

#### 2) 会計について事業所間での整合性を進めていきます。

各事業所との関係性を高める事で、事業所間の整合性を進めていくことで、サービス区分間での経理区分間を把握し、丁寧に行っていました。

#### 3) 事務職員の能力研鑽を進めていきます。

法人内外の研修に参加をし、所属事業所以外の事業所のみる事で、自己の意識を常に上げていく事が出来る様な機会を作ろうとしましたが、職員配置の変更もあり、十分な効果を上げることはできませんでした。

### (2) 配置状況

	本部	のぞみ	かなえ	なかま	生活寮	このみ	合計
常勤職員	2 (兼務①)	1 (兼務①)			1 (兼務①)		2
非常勤職員			1 (産休中)	1			2
パート職員			2 (新規)			1	3
合計		1	3	1	1	1	7

(ア)兼務①はのぞみ1名、生活寮1名が本部も兼務している

(イ)かなえ非常勤職員1名は産休・育休中



### (3) 活動の報告

#### 1) 1カ月

	会計	請求	給与	その他(都度)
上旬	仕分け入力	10日までに 国保連送信	10日までの 職員給与計算	東京都への 変更届提出
中旬	月次報告の 出力		給与預け入れ	会計事務所の 巡回
下旬	未払請求の 整理と入力	利用者出勤と 加算を算出	25日支給の 準備	小口現金の 納税関係

(ウ)小口現金・銀行関係の確認は都度行っている

#### 2) 1年間

	内容
4月	東京都変更届、辞令・異動手続き
5月	内部監査
6月	決算、評議員会・理事会
7月	処遇改善金報告
8月	報酬月額変更
9月	補正予算算出
10月	報酬改定による加算申請
11月	年度末調整説明会
12月	扶養控除申告書等申告書関係、補正予算算出
1月	法定調書・支払報告書の提出
2月	処遇改善金申請
3月	補正予算算出、次年度当初予算算出